

『まるごと 日本のことばと文化』初級1・初級2

BGMつき音声ファイルについて

●SEとBGM

『まるごと』の音声ファイルは、会話の場面をより具体的に表すために、効果音（SE sound effect）を使っています。SEは、町の通りの音や、電気のスイッチの音などです。また、背景音楽（BGM background music）も使っています。BGMは、場面の雰囲気や人物の気持ちなどを表しています。

●BGMがあるファイルとないファイルを使い分けましょう

かつどう編「ききましよう」と、りかい編「かいわとぶんぼう」のモデル会話の音声ファイルは、同じ会話にBGMがあるものとないものの2種類があります。BGMがないものは、ファイル番号の後ろに「n」が入っています。

ファイル名の例： BGMあり 001_1_1_2.mp3 BGMなし 001n_1_1_2.mp3

これらの音声ファイルは、目的によって使い分けてください。例えば、授業では以下のような使い方があります。

かつどう編 音声ファイル（BGMあり／なし）使い方の例：

A 各課にある2つの「ききましよう」で使い分ける

<p>(初級1A2 かつどう 第1課)</p> <p>②わたしたちは東京に住んでいます p24</p> <p>① すずきまりさんが かぞくと しんせきについて 話します。</p>	<p>★使い方の例 1</p> <p>②は1つめの「ききましよう」なので会話音声に集中するためにBGMなしを使う。</p>
<p>③わたしたちは 日本語で 話します p26</p> <p>① まりさんの かぞくや しんせきは、まりさんの ごしゅじんと なにごで話しますか。</p>	<p>③は2つめの「ききましよう」なので、リラックスして聞くためにBGMありを使う。</p>

B 1つの「ききましよう」（1-4番の会話について、質問の答えをさがしながら聞く活動）の中で使い分ける

<p>(初級1A2 かつどう 第1課)</p> <p>②わたしたちは東京に住んでいます p24</p> <p>① すずきまりさんが かぞくと しんせきについて 話します。</p> <p>(1) どこに すんでいますか。</p> <p>(2) かぞくは なんにんですか。</p> <p>(3) しごとは なんですか。</p> <p>どこで はたらいていますか。</p>	<p>★使い方の例 2</p> <p><質問によって使い分ける></p> <p>まず場面の雰囲気や人物の気持ちなどを理解し、そのあとで会話音声に集中するために以下のようにする。</p> <p>↓</p> <p>BGMありを聞いて質問(1)に答える (1-4番)</p> <p>BGMなしを聞いて質問(2)に答える (1-4番)</p> <p>↓</p> <p>BGMなしを聞いて質問(3)に答える (1-4番)</p>
---	---

※以下の4人について上の(1)-(3)の質問に
答える

- 1番(例題) まりさん
- 2番 まりさんのおにいさん
- 3番 まりさんのおねえさん
- 4番 まりさんのおばさん

※質問(1)(2)または質問(2)(3)をまとめてもよい。

★使い方の例 3

<会話4つのうち、1番(例題)と2-4番で使い分ける>
まず1番(例題)で場面の雰囲気や人物の気持ちなどを理解し、2-4番で会話音声に集中するために、以下のようになる。

1番(例題 まりさん)

BGMありを聞いて質問(1)-(3)に答える

2番 BGMなしを聞いて質問(1)-(3)に答える

3番 BGMなしを聞いて質問(1)-(3)に答える

↓
4番 BGMなしを聞いて質問(1)-(3)に答える

★使い方の例 4

<聞く目的によって使い分ける>

まず、質問の答えをひろいあげて会話内容をつかむため、その後、会話の流れや重要表現をよく意識して聞くために、以下のようになる。

BGMありを聞いて質問(1)に答える→会話内容

BGMありを聞いて質問(2)に答える→会話内容

BGMありを聞いて質問(3)に答える→会話内容

↓
BGMなしを聞く→会話の流れと重要表現

※質問(1)(2)または質問(2)(3)をまとめてもよい。

りかい編 音声ファイル(BGMあり/なし)使い方の例:

- ★コミュニケーション場面や人物の気持ちなどを理解するためにBGMありを使う。
- ★授業で疲れたときの気分転換をはかりたいときにBGMありを使う。
- ★文型や語いなど言語形式をよりはっきりと正確に聞きたいときにBGMなしを使う。
- ★口頭で文を読む練習をするときのモデルとして使いたいときにBGMなしを使う。

●なんども聞きましょう

会話はなんども聞きましょう。『まるごと』は、音声を聞くことが話す準備としてたいへん大切だと考えています。特にかつどう編「ききましょう」では、会話の内容がわかるだけでなく、会話の流れや表現に気づくまで、なんども聞きましょう。「ききましょう」の質問は1~3問ありますが、会話を1回しか聞かないですべてに答えるのは、良い方法ではありません。2回、3回と聞いてください。また、同じ会話を飽きずになんども聞くためにも、BGMありとBGMなしの両方を活用してください。
